

9月28日 北下町（北下町福社会館にて）

<主なやりとりと対応状況>

\* 対応状況は矢印⇒です。

- 電車の急行（快速）を大磯から各駅にできないのか。そのほうが便利である。  
⇒ 県議会議員の時に平塚止まりを無くせないのかとJRに交渉に行きましたが、平塚から先には空の電車を走らせることはできないとの回答でした。大磯駅の乗降客数を増やさないと実現できないので、その取り組み＝人口減少対策で結果を出し、データを持って交渉に行きたいと考えています。
- たまやの横に広い敷地があるが、そこを有効活用できないのか。ショッピングモールなどができれば子育て世帯にとってよい。  
⇒ 前の工場がPCBを使っていて、それが入ったタンクの処分に時間がかかっているものと思われます。
- 企業がないと税収は増えないのではないか。  
⇒ 税収が増えると地方交付税が減るので、企業の有無や税収の増加は、町民の生活向上に直ちに結びつくとは言えません。ふるさと納税など税外収入を増やすことで、町が使えるお金を増やすことができますので、その取り組みを進めています。ただし、企業が減って雇用の機会が減ることは人口減少対策として問題です。ふるさと納税のことを考えながら、企業の誘致も進めていきます。
- ふるさと納税の返礼品には、どのようなものがあるのか。  
⇒ 人気があるのはプリンスホテル関係の返礼品です。また、かまぼこ・エビフライも人気があります。返礼品の工夫をしないと、他の自治体へ寄附が流れてしまいます。また、ふるさと納税で赤字になることもあります。
- オレオレ詐欺や物価の高騰などがあるが、町民は社会情勢を把握しておく必要がある。民生委員の活動が重要だと思うが、その人たちの待遇はどうなっているのか。  
⇒ 民生委員には手当てがあり、国と県の基準に応じてお支払いをしています。神奈川県が民生委員に関する予算を持っていますので、手当の改善を県に要望していきます。
- 町内会で議論しているが、役員のなり手がいない。最終的に役員のなり手がいない場合は、解散となるがそのような声は他の地区から挙がっているのか。一番大変なのは区長である。平日に時間が取れる人が少なく、役員になれる家庭も少ない。高齢化も進んでおり、なかなか手が見つからない。

⇒ 大磯町内では自治会の解散という話は聞いたことはありませんが、なり手がいないという声は町役場にも届いています。町としては、転入の際に自治会への参加を促すなど、加入促進を図っています。仕事を抱えていてもできる自治会運営を区長会とも相談しながら考えていきます。

○ 先日、大きな飛行機が西から東に向かって飛んでいたが、低い位置を飛んでいて怖かった。

⇒ おそらく米軍機ではないかと思われます。米軍機は自治体の言うことは聞いてくれない傾向はありますが、低く飛ばないように県を通じて要望します。

○ 北下町福祉会館の近くにキッチンカーが来ていたが、お金はもらっているのか。

⇒ 場所代をもらっています。町有地が空地になっている場所は少しでも収益が出るように、来年度は駐車場にすることを検討しています。

・ 信号機やカーブがあるが、駐車場にするのは危なくないのか。

⇒ 危なくないようにしっかりと対策をとるようにします。

○ とある空き家について、災害の際に問題になったりしているが、どうにかならないのか。

⇒ ご指摘の場所には恐らく人が住んでいると思われます。大磯町は分譲住宅が少なく、転入者は既存の戸建て住宅を選択することが多いので、空き家対策は重要です。今年度は空き家の全数調査を行いましたので、来年度は空き家の解体やリフォームへの支援策を実施する方向で検討しています。

以上